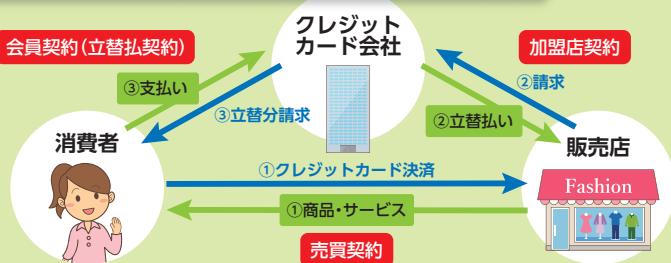


気がついたらリボ払いに?!その先にあるのは? ～クレジットカード決済のきほんを知る～

クレジットカードを持っていると、手持ちの現金がなくても後払いで買い物ができる便利です。一方で、クレジットカード決済をする=クレジットカード会社に代金を立て替えてもらう(借金がある)ということ意識することも大切です。クレジットによる支払方法は、一括払い、リボルビング払い(リボ払い)等複数あります。特に、最近よく耳にするリボ払いを利用する場合には、よりしっかりと支払いを管理する必要があります。

クレジット契約の仕組みは三者間契約



- ①消費者は、販売店でクレジットカードを提示し、商品・サービスを受けます。
- ②販売店は、その代金をクレジットカード会社に請求し、カード会社は一括立替払いをします。
- ③カード会社は、消費者に立替分を請求し、消費者は一括または分割で代金を支払います。

クレジットカードによる支払方法

支払方法		手数料(利息)
一括払い	1回払い、ボーナス1回払いなど	かからない
分割払い	購入の都度支払方法を決めて支払う(3/6/10/12/24/36回払いなど)	購入金額と支払方法に応じた手数料がかかる
リボルビング払い(リボ払い)	毎月一定額(一定率)で支払う	支払残高に応じた手数料がかかる

(例) 1月に6万円のスキーボードを買い、2月に3万円の洋服を買い、以下の支払方法で翌月から支払う場合

支払方法	支払開始後の支払終了時期	支払総額
一括払い(翌月)	スキーボード...2月 洋服...3月	90,000円
分割払い スキーボード:6回払い、実質年利11% 洋服:3回払い、実質年利10.5%	スキーボード...7月 洋服...5月	92,466円
リボ払い 毎月1万円の支払い 実質年利15%、元利金等払い	スキーボードと 洋服の合計...11月	95,618円

リボ払い

<メリット>

- 支払い額が一定のため、月々の家計管理がしやすい

<デメリット>

- 買い物が増えるほど支払回数が増え、手数料の負担も重くなる
- 支払終了時期が分かりにくい



消費者の皆さんへ

- ◆クレジットカードを作る際は、**支払方法の設定を必ず確認**しましょう。カード会社が行っている「ポイントがもらえるキャンペーン」等では、リボ払い専用カードによる支払い・リボ払い設定による支払いが条件になっている場合もあります。リボ払いの仕組みを理解し、キャンペーンの条件等を確認した上で手続きしましょう。
- ◆一般のクレジットカードは買い物時に一括払い、分割払い、リボ払いが選べます。**カードを作る際、支払方法をリボ払いに設定した場合、買い物時に「一括払い」を選択しても、自動的にリボ払いになります。**リボ払いは、月々の支払いを一定額に抑えられる反面、長期にわたる支払いと複雑な仕組みで債務総額がわかりにくいいため、**気軽に利用を重ねると多重債務の一因にもなりかねません。**
- ◆クレジットカードの**利用明細書を毎月確認**しましょう。少しでも不明な点があれば、カード会社に問い合わせてみましょう。

